

論文式試験問題集
[一般教養科目]

[一般教養科目]

次の文章は、アリストテレス（紀元前 384 ～ 322 ）『弁論術』（戸塚七郎訳）の中の一節である。これを読んで、後記の各設問に答えなさい。

（省 略）

（注）説得推論（enthymeme）については、別の箇所において、以下の説明がされている。

（省 略）

〔設問 1〕

本文中において、アリストテレスは、弁証術（dialectic）と弁論術（rhetoric）をどのように区別しているか。文中の言葉を適宜自分の言葉に置き換えつつ、15行程度でまとめなさい。

〔設問 2〕

アリストテレスの言う弁論術は、今日においても、様々な場面で活用されている。弁論術は、それをどう使用するかによって、功罪相半ばする技術である。弁論術を使用することの功罪について、説得力のある具体例を一つ以上挙げつつ、20行程度で論じなさい。

【出典】アリストテレス 戸塚七郎訳『弁論術』